

緊急消防援助隊情報

緊急消防援助隊車両（大型水陸両用車及び搬送車）の配備について

広域応援室

1. はじめに

梅雨前線の影響による大雨や台風の日本列島への接近・上陸は、しばしば日本列島に土砂災害、河川の氾濫、低い土地の浸水等大きな被害をもたらしています。また、近年は短時間強雨の回数が増加傾向にあり、短時間で局地的に非常に激しい雨が降ることにより、中小河川の急な増水が引き起こされ、被害を生じさせています。

令和2年7月豪雨では道路が冠水した地域や土砂災害現場等、通常の消防車両では進出が困難な現場も多く、活動に支障を来しました。

消防庁では、このような経験を踏まえ、冠水地域において円滑に消防活動が果たせるよう全国に2台目となる「大型水陸両用車及び搬送車」を配備することとしましたので、その概要を紹介します。



大型水陸両用車



水上航行のようす

大型水陸両用車主要諸元

全長	7,870mm
全幅	1,980mm
全高	2,540mm
車両総重量	7,030kg
乗車定員	14名
総排気量	2,990cc
最高速度	[陸上]65km/h[水上]3.5km/h
最大登坂能力	31度
最小回転半径	6.5m
最高出力	170馬力

2. 大型水陸両用車及び搬送車

(1) 車両概要

今回広域応援室で調達した大型水陸両用車は、水深に関わらず水上航行が可能であり、悪天候、悪路において高い走破性を有した車両です。運転手を除いた13名が搭乗可能で、道路冠水による孤立地域における救助活動の輸送力の強化が見込まれています。

車両運転区分は大型特殊自動車で、水上航行には二級以上の小型船舶操縦士免許が必要です。

(2) 配備先等

本車両は、消防庁が消防組織法第50条（国有財産等の無償使用）に基づき、今後発生が懸念される南海トラフ地震や頻発化する大規模風水害等への即応体制を考慮し大阪府の大阪市消防局に配備しました。大阪市消防局により愛称が募集されています。（令和3年10月25日現在）

(3) 資機材等

津波・風水害等の被害状況を考慮し、対応可能な資機材を選定し、配備車両と同時に納入しました。



同時納入資機材一覧	
救助用ボート	1式
ライフジャケット (PFD)	15着
胴付長靴	10着
スローバッグ	5個
救助用伸縮棒	1本
潜水救助器具一式	5セット
遠隔操作型救命浮環	1機
災害対策用可搬式コンベア(2m,3m)	各2台
不整地走行補助板	1式
特定小電力トランシーバー	5台
フローティング担架	1式
ストレッチャー (樹脂製)	1式

【主な資機材の特長】

●救助用ボート

排水に優れ、急流河川での救助に適したラフティングボート。



●遠隔操作型救命浮環

リモート操作により、要救助者へのアプローチが可能な自走式救命浮環。

●フローティング担架

水抜きの良いメッシュ構造でフレームにフロートを備えることで浮力を有している。

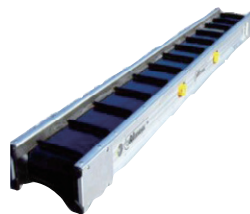
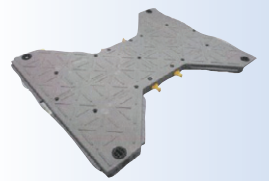


●胴付長靴

つま先の保護と釘等の踏み抜き防止処理されたもの。

●不整地走行補助板

不整地・泥濘地・砂地に敷設することで仮設道路を形成できる。部材の組み合わせが可能。



●災害対策用可搬式コンベア

土砂災害現場など、人力で土砂を搬出することが難しい現場において、自動で土砂を搬送する。複数台での連結稼働が可能。



搬送車積載状況

3. おわりに

この大型水陸両用車は、既に配備されている中型水陸両用車、津波・大規模風水害対策車と同様に、通常の消防車両では進出が困難な冠水地域等における活動能力向上を図るために配備されたものです。

今後配備先消防本部において、車両・資機材の取扱の習熟が図られると共に、このような配備の趣旨を御理解いただき、大規模風水害等発生時における緊急消防援助隊出動時には、大型水陸両用車が積極的に活用され、より効果的な人命救助活動が出来ることを期待しています。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部広域応援室 計画係
TEL: 03-5253-7527